

財政健全化へ着実な歩み

市債残高を3億2千万円減らす

昭和60年度一般会計の決算状況(見込み)がまとまりましたので、内容をお知らせします。この決算状況は、今後、市議会で審議され、承認可決された段階で確定することになります。

60年度決算の見込み

単年度黒字は561万円

60年度の市政は、60年3月定例市議会で可決された当初予算額54億8,000万円でスタートしました。その後、年間を通じていろいろな行政需要にこたえるため、7回の補正予算を組みましたが、最終的には、歳入決算額は62億9,604万円となりました。右のグラフの歳入から歳出を差し引いた561万円が60年度の黒字額となります。

747万円の計2億2,321万円でした。

歳出

歳出総額も、前年度決算額に比べ4,418万円(0.7%)の伸びにとどまりました。

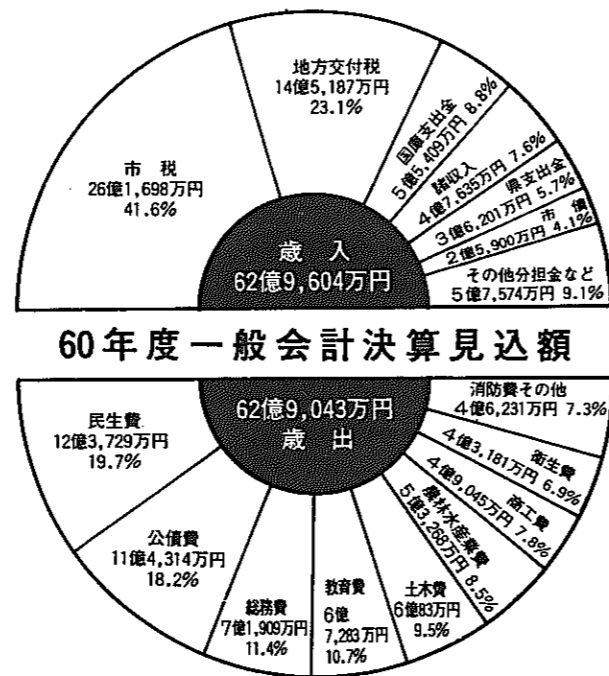
これを科目別に見ますと、増えたのは、民生費1億3,705万円、公債費5,406万円、教育費3,228万円、農林水産業費3,457万円、商工費1,930万円、消防費その他7,535万円の計3億5,261万円で、逆に減ったのが、総務費2億5,482万円、土木費4,709万円、衛生費652万円の計3億843万円でした。

一般管理費を抑える

このように、歳入歳出とも前年度に比べ、総額でそれぞれ0.8%、0.7%と低い伸び率となったのは、財政の健全化を当面の最重要課題として取り組んできたため、特に

歳入面では下記の「主な事業」を進めながらも、できるだけ事業実施に伴う新規の借入金を抑えたこと、歳出面では一般管理費的な総務費の2億5,000万円の減を中心に、他

の科目でも当初予算編成時から極力抑え、その後の予算執行でも節約を続けたことが500万円余りの黒字に結びついたものです。



60年度の主な事業

起債制限団体からの脱却をはじめとする「財政の健全化」が、当面する大きな課題となっています。このため、皆さんの協力の下で、昭和60年度から3か年計画で健全化を進めてきました。60年度はその

初年度であり、苦しい財政の中でしたが、健全化を進めながら行政を執行してきた結果、小林保育園の新築をはじめとする次の大きな事業に取り組むことができました。そのうえ市債残高を3億2,569万円減

額することもできました。(単位:万円)	▷地盤沈下対策事業負担金	5,884	
▷小林保育園建設事業	10,198	▷都市下水路整備事業	12,576
▷農村総合整備モデル事業(鶯巻地域生活センター建設と道路整備)	10,940	▷街路整備事業	3,002
▷県営農道整備事業負担金	937	▷道路整備事業	14,284
		▷児童公園新設事業(大通南2号、みの口)	1,400
		▷消防施設整備事業	1,494

市勢の動き

人口

30年	37,038人
35年	35,665
40年	33,887
45年	32,611
50年	32,049
55年	33,187
60年	34,235

商業販売額

45年	1,041,991万円
47年	1,161,892
49年	1,689,646
51年	2,713,455
54年	4,316,350
57年	5,442,265
60年	5,032,535

工業出荷額

54年	5,196,586万円
55年	6,438,982
56年	7,673,846
57年	8,021,382
58年	8,749,835
59年	9,704,878
60年	10,154,968

農業生産額

54年	1,244,100万円
55年	1,289,000
56年	1,249,000
57年	1,322,300
58年	1,337,400
59年	1,372,400
60年	1,400,000(推計)

一人当たりの税金と費用

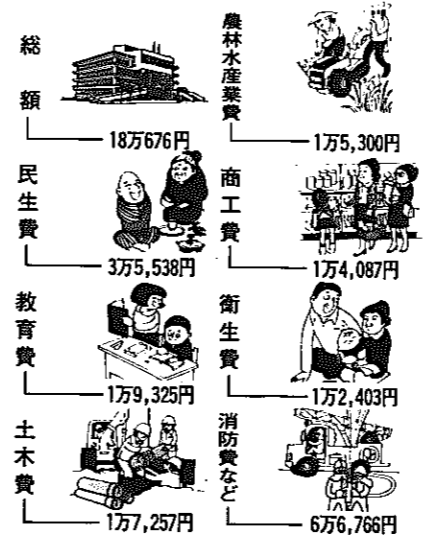
税金とかがった経費を一人当たりで見てください。

60年度に納めていただいた税金は、総額で6万4,338円となり、前年度より7.3%増えました。

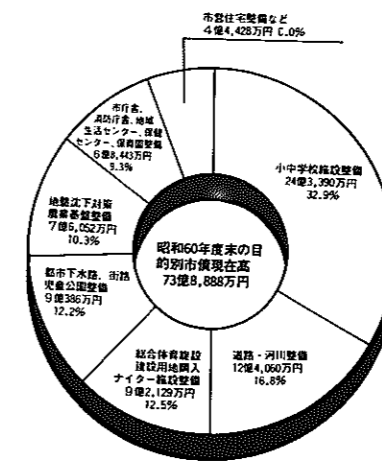
一方、1年間に使われたお金は、総額で18万676円となり、ほぼ前年度並みとなりました。

※ 税負担額は課税額です。ただし市民税からは法人市民税を、固定資産税からは国有資産に対する国からの交付金、納付金をそれぞれ除いてあります。

(昭和61年3月末人口: 34,816人)



市債の状況



学校や道路、地域生活センター、下水路、保育園などを建設するには多くの資金が必要となりますので、市税や補助金だけで賄うことはできません。そこで国や銀行からお金を借りるわけですが、これを市債といいます。

市債は長期にわたって返済するため世代間の公平を図ることができます。60年度末の現在高は、前年度の77億1,457万円に比べ、3億2,569万円減り、73億8,888万円になりました。

市有財産の状況

区分	土地	家屋	出資金
60	489,559㎡	87,165㎡	1,769万円

国民健康保険特別会計

歳入	歳出	差引
173,714	169,781	3,933

老人保健特別会計

歳入	歳出	差引
143,262	143,239	23

60年度の主な事業

